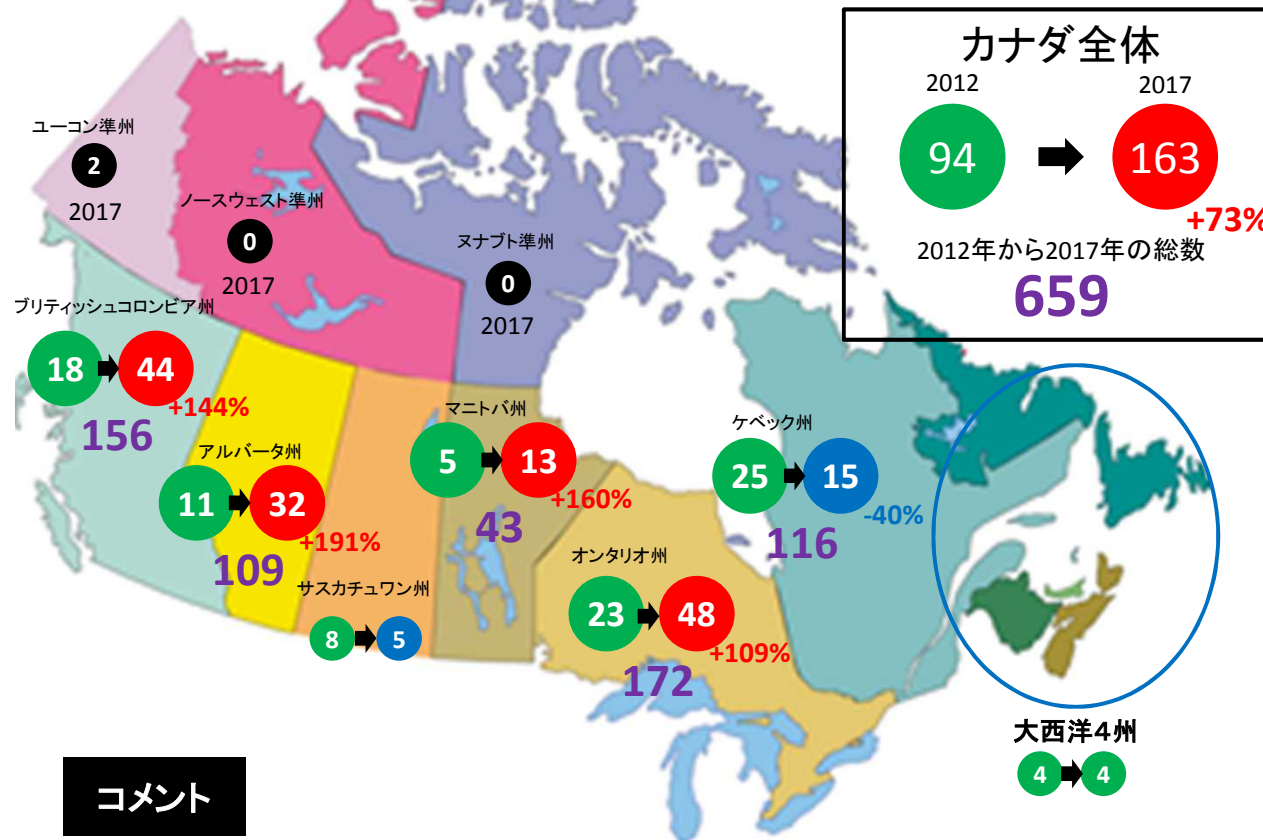


組織犯罪グループによる州別殺人人数統計

平成31年2月

■ 組織犯罪グループ(マフィア、ギャング等)による州別殺人人数統計

■ 殺人発生数に占める割合(州別)



コメント

■ ケベック州で数字が減少傾向にあるのは、2012年以降バイカーギャング集団「Hells Angels」が中心となり各組織犯罪グループの「棲み分け」が成立したため、各グループ間抗争が減少したことによるとの分析あり。

【背景】 元来、白人至上主義団体としてケベック州の組織犯罪に大きな影響力を有していたHells Angelsに、黒人ギャングのG. Woolleyの加入が許されたことが契機となり、2012年以降同地のマフィア、ギャング間で闇市場の分け前を巡る経済的同盟関係が成立。なお、2009年のケベック州警察による大規模オペレーション「Opération SharQC」により大打撃を受けた同Hells Angelsが、現在の組織再構築の過程において自身のヒエラルキーに当地の他マフィアやギャングを多数取り込んだことにより、同Hells Angelsがケベック州の組織犯罪収益の95%を独占している状況にあると分析する研究もあり。

■ 他州が増加傾向にあるのは、こうした「棲み分け」が存在しないことが原因の一つ(N.-B.州及びYN.準州の割合が高いのは分母となる数字が小さいため)。

カナダ統計局調査